

社友会武豊支部 同好会ファイザー衣浦会旅だより

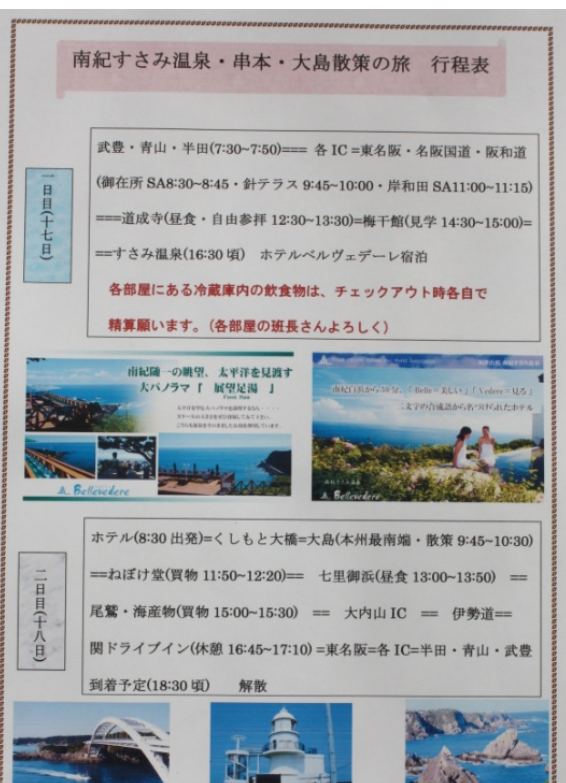
****はじめに****

ファイザー衣浦会は平成8年7月、愛知県知多半島半田市以南在住のOB有志が武豊町(川柳)に集まり、初代会長に”垣内幸二郎氏”を選出し、自主運営されています。

旗揚げ後、会員数は増大の一方を辿り、平成22年度には会員数148名となり、三代目会長(高橋一夫)のもと、名古屋工場で「同じ釜の飯を食った者同士」が現役時代の組織上の上下関係を排除し、自由闊達に(但し年長者をいたわり、敬いながら)、5月に総会、11月には一泊二日のバス旅行、3月、9月にカラオケ大会を開催し、和気あいあいとした仲間の集まりとして、数名のボランティア幹事に御苦労頂き今日まで運営されています。



****第12回南紀すさみ温泉と串本・大島の旅****



平成22年11月17日朝7時30分、武豊を出発したバスは途中、青山、半田での参加者を乗せ、一路南紀一周の旅へ、御一行様(男性15名、女性10名)出発。

知多中央道、東名阪、名阪国道、阪和道経由、途中数回のトイレ休憩をはさみながら、道成寺で昼食・参拝し、その後梅干館での見学・買物を終え無事すさみ温泉「ホテルベルヴェデーレ」に午後4時30分到着。





早速、当ホテル自慢の眺望満点露天風呂へ直行し、一日の汗を流した後、大広間で宴会が始まり、食卓には普段口には出来ない「クエ料理(刺身・鍋)」に舌鼓をうち、カラオケ・ダンス・ホテルの仲居さんによる”民謡串本節”等であっという間に2時間を経過し、最後に全員が壇上で肩を組み「星影のワルツ」を合唱、夫々カラオケボックス・2次会・部屋へと散会。



翌朝、ホテル出発前に団体写真を取り、2日目の行程出発進行。

白色のくしもと大橋を渡り、大島に到着。島内の散策(トルコ記念館・榎野崎灯台よりの太平洋水平線を眺望)し、帰途につく。



車窓より、串本天然記念物、奇岩(橋杭岩)を眺め、伊勢道、東名阪、知多中央道経由にて、紀伊半島一周の旅を、全員事故なく、無事午後7時過ぎに、半田、青山、武豊に到着、解散。

後1日はほしい旅でした。 以上(記: 高橋 一夫)

